

環境調査結果のお知らせ

平成28年1月8日午前9時半から浦戸湾(高知市横浜・県漁協高知支所前岸壁)の環境調査を実施しましたので、結果をお知らせします。

水温・塩分(表1、表2)

湾内の水温は13.5～18.3℃で、前回調査時(H27.12.21)と比較して表層から1m層で0.9～1.0℃上昇、2m層から底層で0.4～0.7℃低下していました。

塩分は25.5～30.9で、前回調査時と比較して全層で1.3～11.0上昇していました。

溶存酸素量(表3)

湾内の溶存酸素量は6.3～8.5mg/lで、前回調査時と比較して表層で0.3mg/l減少し、1m層で0.5mg/l、底層で0.2mg/l増加しました。

透明度、プランクトン(表4、表5)

透明度は2.8mでした。

検鏡の結果、魚類に有害なヘテロシグマ・アカシオが最高で1,375cells/ml確認されました。

海面の様子や魚などの生物の異常がみられたときは、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして保存するとともに、直ちに水産試験場または中央漁業指導所まで連絡してください。

表1 水温(℃)

測定水深(m)	今回調査	前回調査(H27.12.21)	
			差(今回-前回)
0m	13.5	12.6	0.9
1m	16.6	15.6	1.0
2m	18.3	18.7	▲ 0.4
B-1	18.3	19.0	▲ 0.7

表2 塩分

測定水深(m)	今回調査	前回調査(H27.12.21)	
			差(今回-前回)
0m	25.5	14.5	11.0
1m	28.7	21.8	6.9
2m	30.9	28.9	2.0
B-1	30.9	29.6	1.3

表3 溶存酸素量(mg/l)

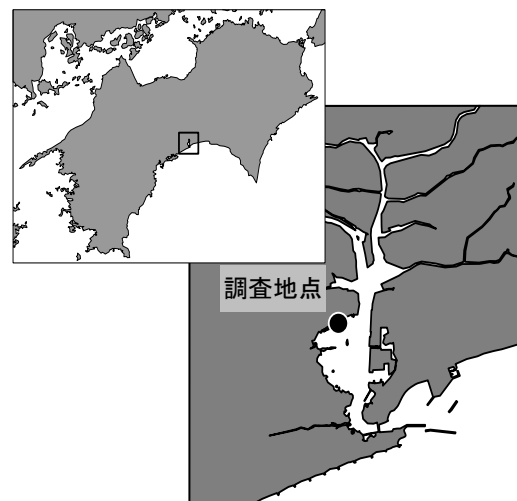
測定水深(m)	今回調査	前回調査(H27.12.21)	
			差(今回-前回)
0m	8.5	8.8	▲ 0.3
1m	7.9	7.4	0.5
2m	6.3	6.3	0.0
B-1	6.3	6.1	0.2

表4 水深・透明度(m)

	今回	前回
水深	3.0	3.3
透明度	2.8	2.8

表5 プランクトン(cells/ml)

測定水深(m)	ヘテロシグマ・アカシオ	ジャイロディニウム属	珪藻類
0	78	5	75
1	364	8	50
2	1,375	2	0



漁業被害が想定される細胞密度

・ヘテロシグマ・アカシオ:
10,000～50,000cells/ml(魚類等のへい死)

「環境調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>